東北６県と整備局が創る
河川・ダム・砂防・海岸事業の新たな連携

「個性の大地」

第２６号（平成２１年　５月）
東北地方整備局河川部
地域河川課　発行

新年度を迎えて



東北地方整備局
地域河川調整官　小関　賢次

いよいよ平成21年度が始まりました。
昨年度を振り返りますと、６月１４日に発生した岩手・宮城内陸地震対応、また、１００年に１回という世界的な経済危機の情勢での景気浮揚、雇用対策等、国、地方あげての経済対策としての２次に亘る補正予算の執行など、公共事業を取り巻く情勢は厳しい中、作業にあたられた各県・市の皆さんには大変ご迷惑をお掛けしましたが、ご理解とご協力本当にありがとうございました。

平成２１年度の当初予算執行もスタートしたばかりではありますが、依然、低迷する経済情勢の中、更なる経済危機対策として、早い時期の交付金制度等の検討が進行中であります。また、経済波及効果の早期発現のため、各界から前倒し発注等の大きな期待が寄せられております。

厳しい状況ではありますが、河川関係補助事業等を通して地域の「安全・安心」の確保、向上という、我々に課せられた責務は些かも色褪せるものではありません。

近年頻発しているゲリラ豪雨・土砂災害の対策、気候変動への対応を視野にハード・ソフト対策の普及・促進、各県の厳しい財政を踏まえた近年災害への対応、重点的・優先的な整備促進を図るための調整費、他事業予算の活用等、柔軟な機動的執行が求められています。

本年度もタイトな１年になると思いますが、本誌「個性の大地」を介し、技術力の研鑽、コスト縮減の視点からの情報提供・共有化を図っていく所存ですので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げまして、年度初めにあたってのご挨拶とさせていただきます。

平成２１年度補助事業概要

東北地方整備局の河川局所管補助事業の平成２１年度事業費は、当初予算で総額約４５７億円（前年度比０．９２６）であり、河川、海岸、ダム、砂防事業の計画的・効率的執行により、地域住民が安全・安心で、ゆとりとやすらぎのある暮らしが営まれるとともに、直轄事業や他事業関連との調整を図りながら東北地方における社会・経済の基礎となる社会資本の一層の推進を図ります。

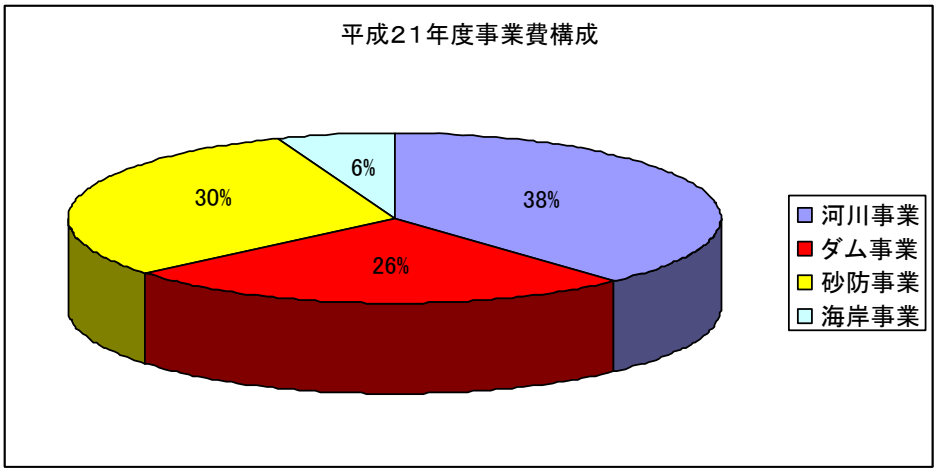
総額４５７億円　　（単位：百万円）

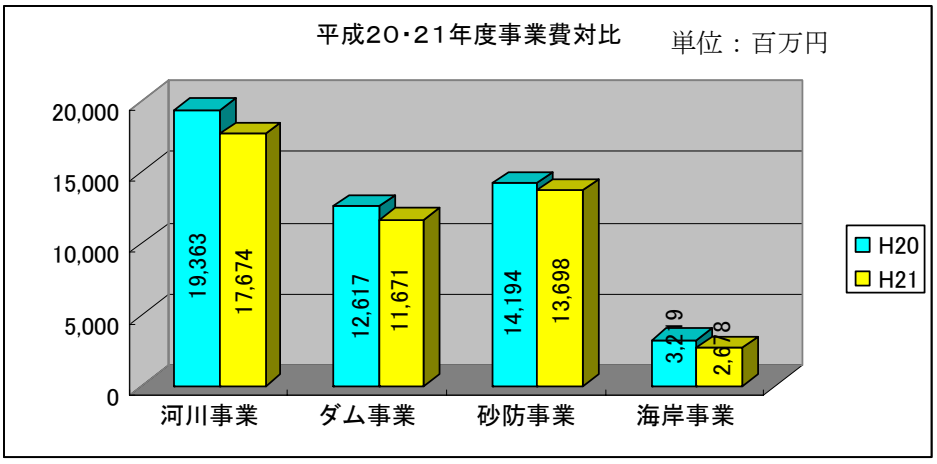
事　業　名	Ｈ２１事業費	うち一括配分	Ｈ２０事業費	うち一括配分	伸　率
河川事業	17,674 (2,573)	17,674 (2,573)	19,363 (2,050)	19,213 (2,050)	0.913
ダム事業	11,671 (1,242)	638 (0)	12,617 (1,722)	1,252 (0)	0.925
砂防事業	13,698	3,224	14,194	3,978	0.965
海岸事業	2,678	1,035	3,219	1,200	0.832
合　　計	45,721 (3,815)	22,571 (2,573)	49,393 (3,772)	25,643 (2,050)	0.926

※各事業(海岸事業除)には、特定治水施設等整備事業を含む。なお、H20 事業費には道路社会資本を含む。

※（）書きは、住宅対策及び都市水環境整備事業

※ダム事業は公共費ベース





各県の整備方針

『心のかよった県土づくりのために』



青森県　河川砂防課長　阿部　晴生

本県が掲げる　県民が輝き、安んじて生きられる「生活創造社会」の実現に向け、「青森県ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例」の理念の下、心のかよった県土づくりのため河川砂防及び海岸事業をお客様本位の視点で進めて参ります。

特に近年の厳しい財政状況下では、治水施設整備等のハード対策に加え、ソフト対策の充実・強化を図っており、携帯サイトでの「川の防災情報」の提供に加え、洪水情報や土砂災害警戒情報をメールで自動送信する「お知らせメール」を運用しております。

昨年は幸いなことに近年例を見ないほど災害の少ない年でしたが、気を緩めることなく、これからの出水期に対応して参りたいと考えています。

『ともにつくり未来につなぐ希望の県土』



岩手県　河川課総括課長　　佐藤　悟

岩手県県土整備部では、県民の生活・経済活動に必要な社会資本を適正に管理し、必要な整備を行うことにより「県民から信頼される県土づくり」を目指しています。

河川・海岸においては、県民の安全・安心な暮らしを確保するため、河川・海岸の自然環境に配慮しながら、河川海岸施設の適正な維持管理と計画的な整備を進めるとともに、水位・雨量情報の提供等、避難体制の充実に向けた支援を効果的に組み合わせ、洪水・津波被害の軽減を目指して取り組んで参ります。

依然、厳しい財政環境にありますが、選択と集中を進めながら、ハードとソフトの組み合わせによる効果的な洪水・津波対策を推進します。また、河川・海岸管理では、昨年度に構築した「河川海岸施設維持管理システム」を活用した構造物管理や施設の長寿命化計画策定に向けた取組、地域住民の参画協働によるアドプト制度の拡充など、予防・保全型の維持管理を推進して参りますので、関係各位のご支援とご協力をお願いいたします。

『「富県共創！　活力とやすらぎの邦づくり」を目指して』



宮城県　河川課長　鷲巣　俊之

県政運営の理念である「富県共創！　活力とやすらぎの邦づくり」を目指し、『県民と共に、未来に誇れる強く美しいみやぎの県土づくり』のため、以下の５本の柱に沿って施策を推進します。

１．新たな施設の重点的な整備
２．既存施設の維持管理・更新
３．被害軽減のためのソフト対策
４．環境の保全・創出・利活用
５．地域との連携・協働

また、平成 20 年 6 月 14 日に発生した岩手・宮城内陸地震では、平成 21 年 4 月 7 日現在、県内の死者は 10 人、行方不明者は 8 人となっており、河川施設においても天然ダムの発生や荒砥沢ダム湖内に地すべり土砂が流入する等の被害がありました。早期復旧を図り、地域の方々が安心した生活をいち早く取り戻せるよう努力していきますので、引き続きご指導よろしくお願いいたします。

『安全・安心な地域の創造を目指して』



秋田県　河川砂防課長　藤田 博美

平成 21 年度は『あきた２１総合計画』の締めとなる第 4 期実施計画がスタートする年であります。

『快適で災害に強い生活基盤づくり』を政策の柱として、これまでの成果と課題を踏まえ、秋田県の良好な環境・景観を保全・継承しながら、計画的・効果的な社会資本の整備を進め、県民一人ひとりが、ゆとりと豊かさを実感し、誇りのもてるような地域の創出に努めます。

また、近年の厳しい社会経済情勢を踏まえ、現状と県民ニーズを十分把握し、一層の重点化とコスト縮減を図りながら、防災・危機管理体制の充実・強化を進め、安全・安心な地域の創造に全力を尽くしてまいります。

『未来に向けて持続的に発展し、活力ある県土づくり』



山形県　河川砂防課長　齋藤　隆

本県では、未来に向けて持続的に発展し、活力ある県土づくりを推進するため、「安全安心な県土づくり」「新たな地域づくり・

まちづくり」「河川・道路等の効率的な維持管理」等を重点項目として施策を展開していきます。
特に、安全安心の実感に結びつく、水害・土砂災害から県民を守るための施設整備の進捗を図るとともに、防災情報の提供や避難体制の整備支援などのソフト対策を引続き推進して参ります。
また、社会資本の予防保全型維持管理システムへの転換を進めるべく、施設の長寿命化対策や、県民協働による河川環境等の保全活動の推進に取り組んで参りますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

『安全で安心できる生活環境づくり』



福島県　河川計画課長　鈴木　潤一

地球温暖化の影響等による豪雨災害や土砂災害等の自然災害から県民の生命と財産を守り、安全で安心できる生活環境を確保するため、ハードとソフトが一体となった減災対策を推進します。
特に、近年局地的な集中豪雨が頻発していることから、県民自らが命を守る知識を身に付けるとともに、危機管理意識の向上を図るため、出前講座や地域自主防災組織のリーダー（区長等）向けの防災講習会等を開催するなど、地域が連携した減災体制を構築してまいります。
また、これまで投資してきた社会資本を今後も有効に活用し維持するため、予防保全を重視した計画的な維持管理を実施し、施設の適正な機能を保持してまいります。
今後ともご指導・ご支援をよろしくお願いします。

整備局の動き　等

①地域河川課のスタッフ　４月１日現在【地域河川課】

小関地域河川調整官　(M3517)
國松地域河川課長　　(M3811)

槻山課長補佐(M3812)	小嶋係長(M3821)、青田(M3822)	総括、補助河川事業関係
	沢田係長(M3826)	補助ダム事業関係
藤原建設専門官(M3815)	小嶋係長、青田	補助海岸事業関係
	平舘係長(M3827)	補助砂防事業関係

下線が今年度の新メンバーです。

②H21 年度の主な行事予定

年月日	県名	事業区分	行　事　名
5月1日～31日	宮城県	海岸	みやぎ津波防災月間
5月12日	岩手県	河川	第1回いわて多自然川づくり学校（現場調査）
5月15日	宮城県	全般	宮城県沖地震対応総合図上訓練
5月19日	宮城県	全般	宮城県水防協議会
5月20日	宮城県	河川	洪水対応演習（※県独自）
5月22日	宮城県	全般	宮城県治水・砂防協会通常総会及び治水大会
5月24日	宮城県	海岸	志津川津波避難訓練
5月24日	福島県	河川	福島県水防訓練
5月30日	宮城県	海岸	みやぎ津波防災シンポジウム
5月下旬	宮城県	砂防	宮城県砂防ボランティア総会
5月30日	青森県	河川	岩木川水防演習
6月5日	青森県	砂防	全国統一土砂災害防災訓練
6月12日	宮城県	全般	県総合防災訓練
6月14日	山形県	砂防	第3回土砂災害・全国統一防災訓練
6月22～23日	山形県	海岸	北海道・東北・関東ブロック補助海岸事業担当者会議
6月26日	青森県	砂防	土砂災害防止講演会
7月6日	山形県	河川・海岸	県民河川・海岸愛護デー
7月7日	青森県	河川	土橋川床上浸水対策緊急事業竣工式
7月上旬	福島県	河川・砂防	福島県治水協会・砂防協会通常総会
7月上旬～中旬	青森県	ダム	森と湖に親しむつどい
7月上旬～下旬	岩手県	ダム	森と湖に親しむつどい
7月上旬～中旬	岩手県	河川	砂鉄川激特事業等竣工式
7月中旬	宮城県	河川	貞山運河フェスティバル（岩沼市）
7月下旬	岩手県	河川	北上川（北上市地区）水防訓練
7月下旬	宮城県	全般	第1回治水講座
7月	岩手県	河川	第2回いわて多自然川づくり学校（事例発表会、講演会）
8月上旬	山形県	砂防	砂防体験塾
8～9月	岩手県	河川	いわて多自然川づくりシンポジウム
8～9月	岩手県	河川	いわて多自然川づくり講演会
9月1日	宮城県	全般	9.1総合防災訓練
9月6日	山形県	河川・ダム・海岸	かわとびあ2009やまがた（山形河川国道事務所への協力）
9月13日	山形県	河川・海岸	県民河川・海岸愛護デー
9月	岩手県	河川	第3回いわて多自然川づくり学校（講演会、シンポジウム）
10月15日～16日	秋田県	海岸	全国なぎさシンポジウム in あきた
10月下旬	宮城県	全般	実践河川講座（※宮城県河川局所管事業関係技術者研修）
10月下旬	福島県	河川	第50回東北地方治水大会（福島大会）
10月	岩手県	河川	第4回いわて多自然川づくり学校（グループワーク）
12月上旬	青森県	砂防	雪崩防災教室
1月中旬	宮城県	全般	第2回治水講座

編集後記

H20 年度末からの H21 補正予算作業対応では大変お世話になりました。４月より整備局メンバーも代わっておりますが前任者同様（前任者以上に(*^_^*)）よろしくお願いします。

平成２１年度の初号については、慌ただしい中で発行時期を迎えたことと編集事務局担当の不慣れが重なり、５月の発行となったことをお詫び申し上げます。m(_ _)m

今後は予定月での発行とタイムリーな情報提供を目指し鋭意努力する所存です。また、これまで以上に地域の声や話題を取り上げていきたいと考えておりますので、皆様からの積極的な投稿等のご協力をお願い致します。